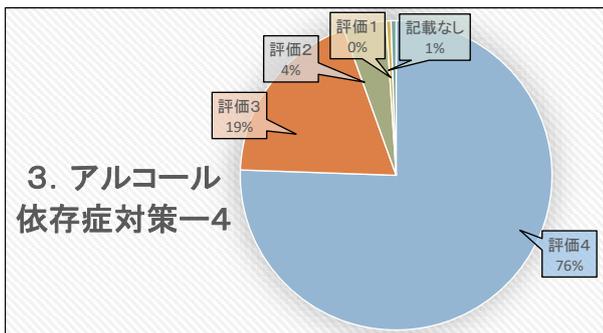
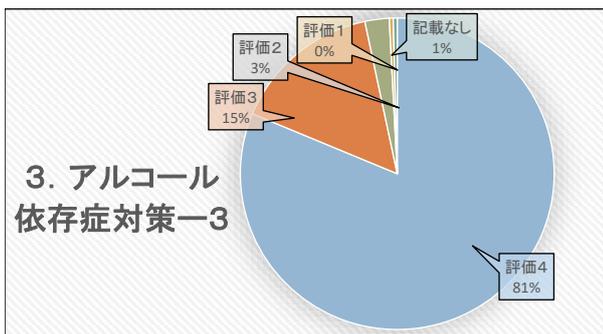
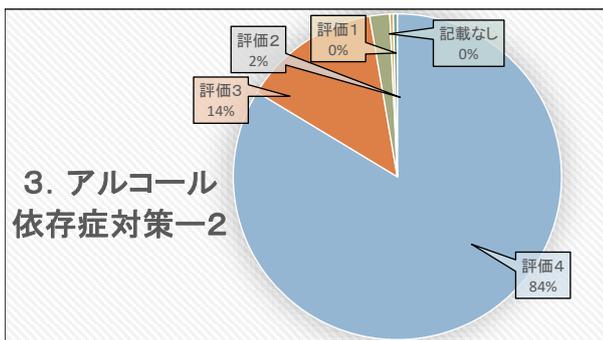
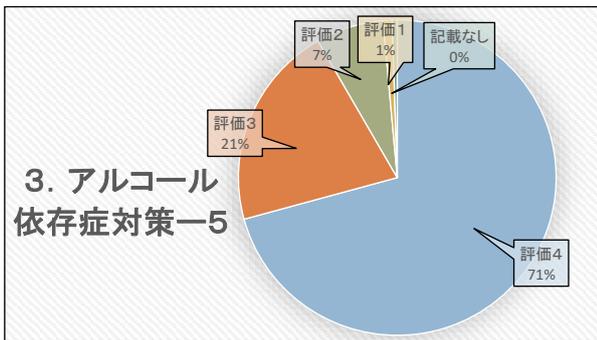
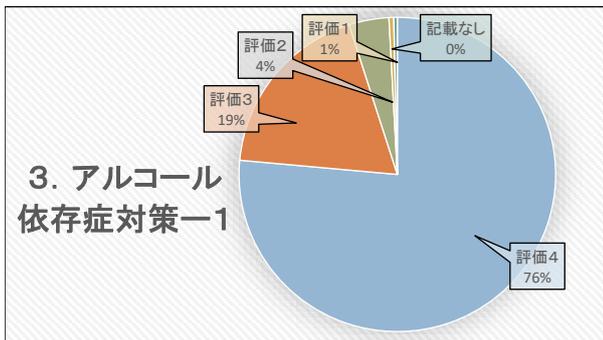


飲酒運転防止にかかる自己チェックシート

「飲酒」に関するドライバーの理解度分布表（3. アルコール依存症対策）



自己評価の基準

4 :理解している	3 :概ね理解している
2 :あまり理解していない	1 :全く理解していない

No,	チェック項目
3-1	トラック運転者は、勤務時間が不規則になりがちで睡眠時間も乱れやすく、早く眠りにつくための「寝酒」が習慣になる事がきっかけでアルコール依存症になるケースが見受けられる。
3-2	アルコール依存症の運転者の飲酒運転をやめさせることは、本人の意志の力だけでは難しく、必要なのは、専門医によるアルコール依存症の治療である。
3-3	アルコール依存症の人が病院に行かないのは、本人に依存症の自覚がないことや、断酒したくないからと言われている。
3-4	アルコール依存症から逃れるためには、「アルコール依存症スクリーニングテスト」を行うことにより自分自身の症状に早期に気付いて、専門機関を受診することが重要である。
3-5	アルコール依存症の治療法は、これまで「断酒」だけだったが、新たな治療法として「減酒」が始まっている。ただし、重度の依存症の治療は「断酒」しかない。